

令和元年 8 月 13 日
予 報 部

台風第 10 号の今後の見通しについて

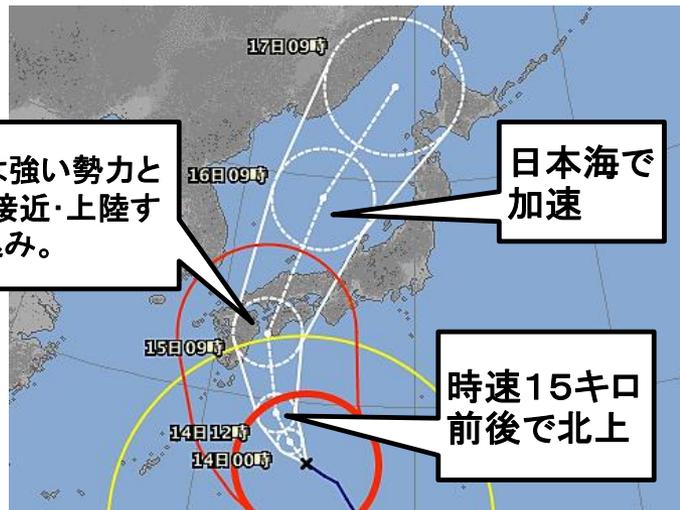
8 月 13 日 14 時現在の台風第 10 号に関する概要や留意事項を別添の通りお知らせします。

問合せ先：予報部 予報課 電話 03-3211-8303

台風第10号の今後の見通しについて(8月13日)

超大型の台風第10号は、強い勢力となって14日から15日にかけて暴風域を伴って九州や四国に接近・上陸し、西日本を縦断する見込みです。九州や四国を中心に猛烈な風が吹き、海上では猛烈なしけとなるおそれがあります。台風接近前から、紀伊半島から四国の太平洋側は南東の斜面を中心に激しい雨が降り、降り始めからの降水量が多いところでは1000ミリを超える大雨となるおそれがあります。瀬戸内地方など普段は比較的雨の少ない地方でも大雨となるでしょう。また15日を中心に大潮となります。西日本を中心に、大雨による土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫、暴風、うねりを伴った高波、高潮や高潮と重なり合った波浪による浸水に嚴重に警戒してください。また、落雷、竜巻などの激しい突風に十分注意し、交通障害や停電などにも留意してください。

各地の気象台の発表する**警報・注意報など気象情報に留意**するとともに、自分の命、大切な人の命を守るために、**危険度分布を活用し、市町村の避難勧告等に従って、早め早めの避難、安全確保**をお願いします。



【台風の見通し】

超大型の台風第10号は、13日12時現在、種子島の南東海上を北西へ進んでいます。今後、やや発達しながら、北よりに進路を変えて、**15日には四国や九州に強い勢力で上陸し、西日本を縦断する見込みです**。その後、速度を速めながら、16日朝までには暴風域を伴って日本海に達するでしょう。その後、次第に温帯低気圧の性質を帯びつつ、17日にかけて北日本へ接近する見込みです。



写真：広島市で発生した土砂災害（平成26年8月20日気象庁撮影）

注）イラスト・写真は想定される災害を示しています。

【大雨の見通し】

・台風接近前から、紀伊半島から九州の太平洋側の東から南東向きの斜面を中心に、雨が強まり、大雨となる。

・その後、西日本を中心に、台風本体と周辺の雨雲により、14日から15日にかけて非常に激しい雨が降り、局地的には1時間80ミリ以上の猛烈な雨となる見込み。

・14日12時までの24時間の雨量が多いところで、東海地方で300ミリ、15日12時までの24時間の雨量は、四国地方で800から1000ミリなど広い範囲で大雨となるおそれ。瀬戸内海に面した地域でも雨量が多くなるでしょう。台風の接近・通過による総雨量は、多いところで1000ミリを超えるおそれがあります。

24時間雨量(多いところ) 単位:ミリ

	14日12時まで	15日12時まで		14日12時まで	15日12時まで
関東甲信		100～150	四国	200	800～1000
東海	300	300～500	九州北部	150	300～500
近畿	200	400～600	九州南部	200	300～500
中国		100～150	奄美		100～150

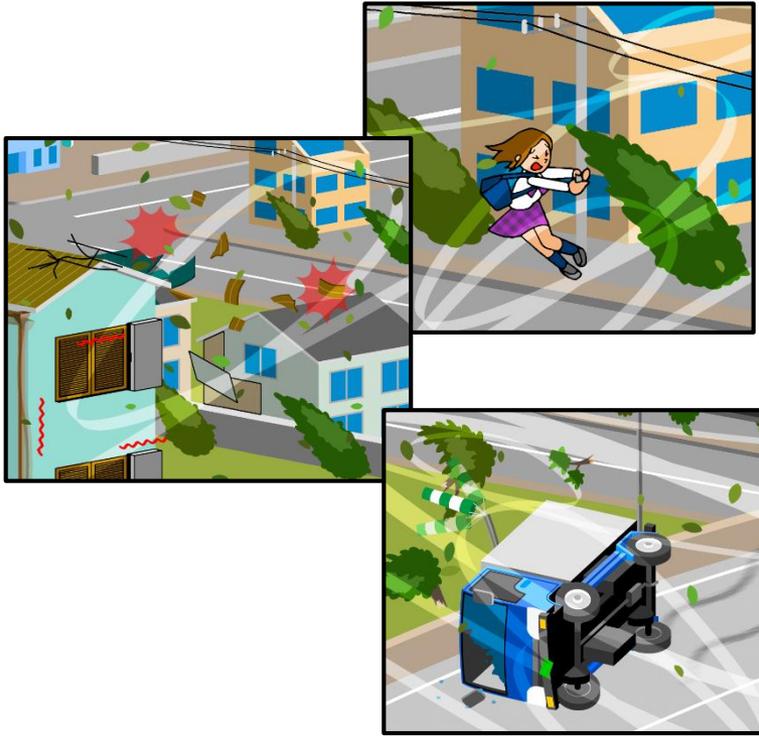
この雨大丈夫？そんな時は
気象庁ホームページで確認

危険度分布

検索



15日12時以降も、南から湿った空気が流れ込み、大雨が続く見込みです。



【暴風と高波の見通し】

- ・西日本や南西諸島では強風域がかかり、西日本から東日本の太平洋側の海上ではしけています。
- ・西日本から東日本の太平洋側や南西諸島では、13日夕方から15日にかけて非常に強い風が吹き、海上では広い範囲で大しけとなるでしょう。
- ・四国や九州を中心に、14日夜から猛烈な風が吹く所があり、海上は14日夕方から15日にかけて猛烈なしけとなる。

注)イラスト・写真は想定される災害を示しています。

■ 暴風

14日までに予想される最大風速（最大瞬間風速）

九州南部	30メートル（45メートル）
四国地方、九州北部地方、奄美地方	25メートル（35メートル）
沖縄地方	23メートル（35メートル）
近畿地方、中国地方	20メートル（30メートル）
東海地方	18メートル（25メートル）

■ 高波

14日までに予想される波の高さ(最大)

四国地方	10メートル
東海地方、近畿地方、九州北部地方、九州南部	8メートル
奄美地方	7メートル
伊豆諸島、小笠原諸島、沖縄地方	6メートル

15日以降も暴風や大しけが続き、さらに風や波が強まる地域もあります。



高潮による浸水被害（香川県高松市） 写真提供：高松市役所

注) イラスト・写真は想定される災害を示しています。

【高潮の見通し】

- ・大潮の時期にあたるため平常時の潮位が高く、台風の接近に伴って、高潮のおそれがあります。
- ・大しけが予想される沿岸部では、高潮や高潮と重なり合った波浪による浸水にも嚴重に警戒。

15日の満潮時刻

舞鶴
03時17分
13時31分

浜田
11時37分
(午後なし)

熊本
08時42分
21時34分

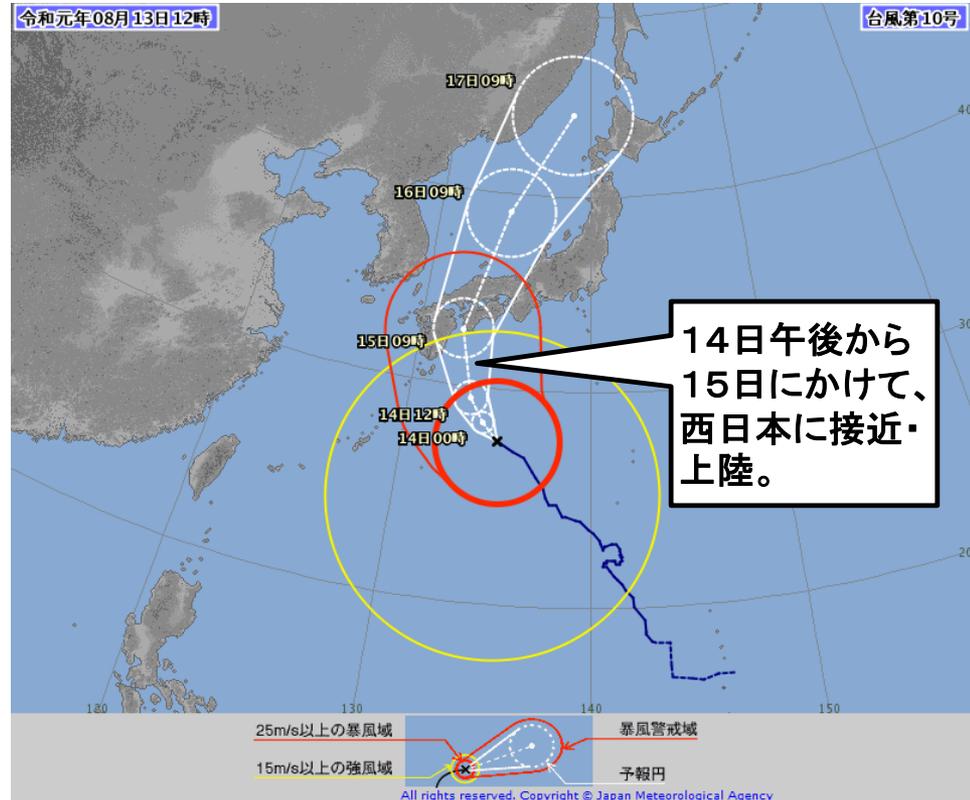
大阪
06時17分
19時32分

鹿児島
06時46分
19時43分

高松
10時32分
23時52分

宮崎
05時32分
18時47分

高知
05時23分
18時43分



警報級の現象(雨・風・波)の期間

8月13日
13時時点の資料

		13日		14日				15日	16日
		12-18時	18-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時	0-24時	0-24時
雨	関東甲信地方								
	北陸地方								
	東海地方								
	近畿地方								
	中国地方								
	四国地方								
	九州北部地方								
	九州南部・奄美地方								
風	北陸地方								
	東海地方								
	近畿地方								
	中国地方								
	四国地方								
	九州北部地方								
	九州南部・奄美地方								
	沖縄地方								
波	関東地方								
	伊豆諸島								
	小笠原諸島								
	北陸地方								
	東海地方								
	近畿地方								
	中国地方								
	四国地方								
	九州北部地方								
	九州南部・奄美地方								
沖縄地方									

■ 警報級
■ 警報級の可能性がある

高潮については、15日から西日本中心に、警報級となる可能性があります。

今後発表する気象情報において、警報級となる期間と地域を示していきます。

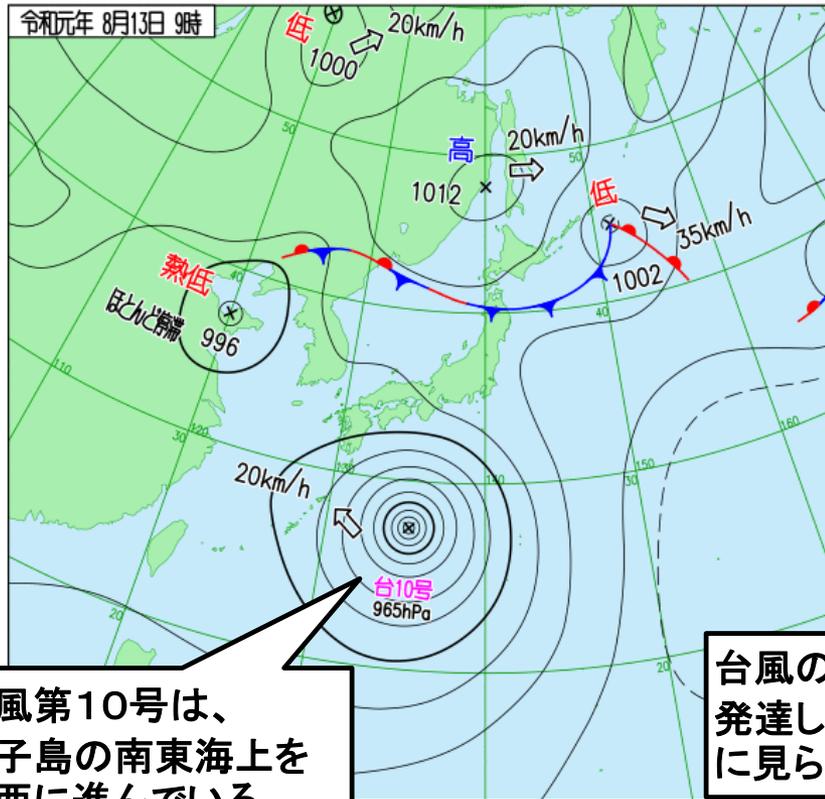
警報級の現象が予想される期間は、台風の数や進路等によって大きく変わります。各地の気象台が発表する最新の気象情報を利用してください。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。

(気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/jp/warn/>)

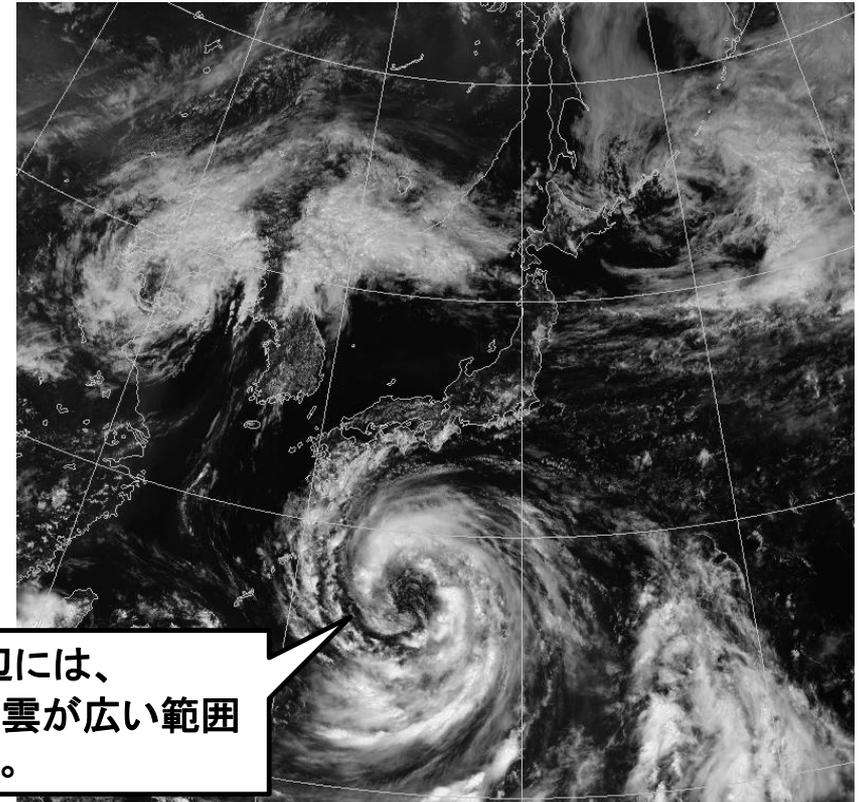
天気図と衛星画像

8月13日
13時時点の資料



台風第10号は、種子島の南東海上を北西に進んでいる。

13日09時
天気図

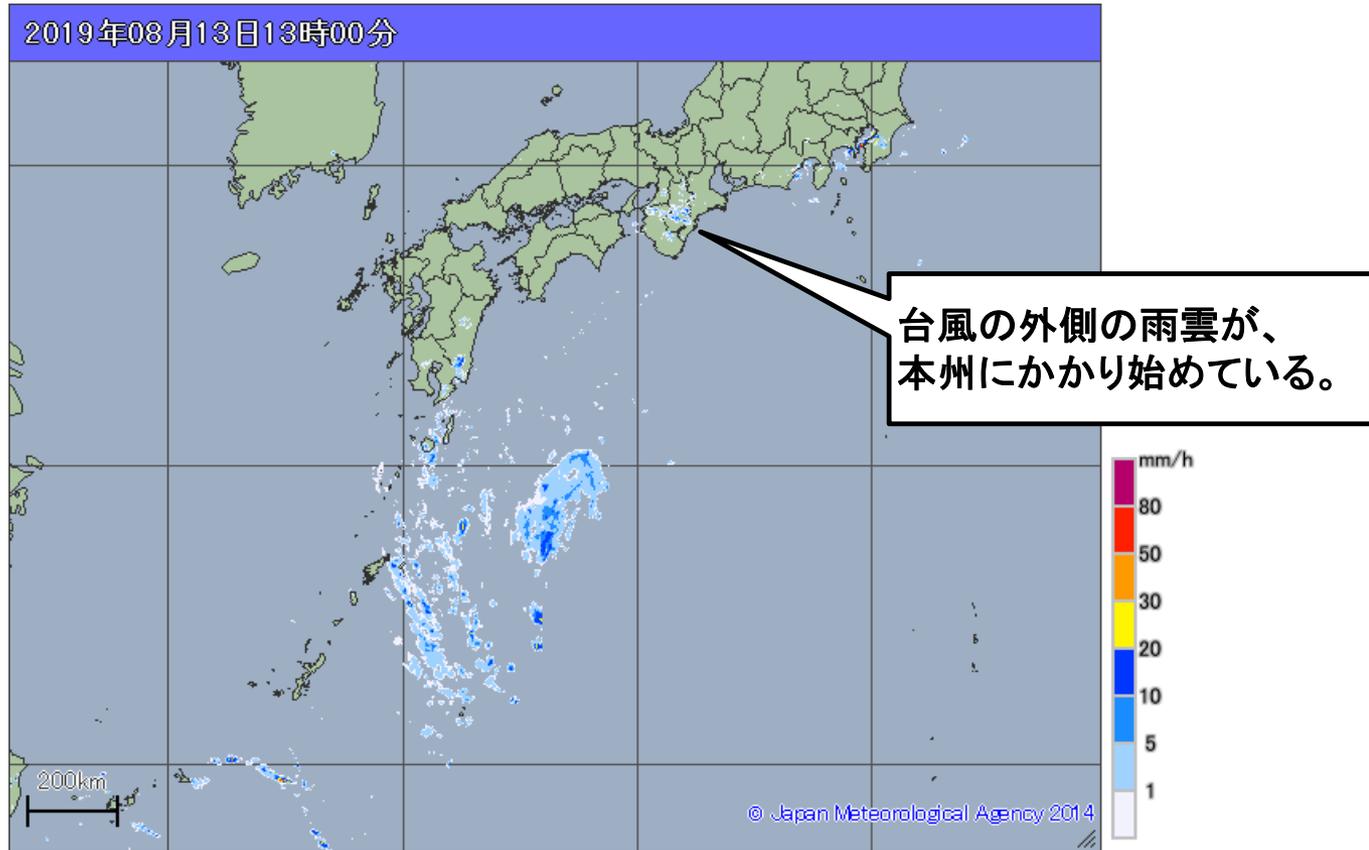


13日12時00分
衛星画像(可視)

今後の予想を含めた最新の情報は各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(天気図：<https://www.jma.go.jp/jp/g3/index.html>)
(衛星画像：<https://www.jma.go.jp/jp/gms/>)

雨雲の様子

8月13日
13時時点の資料



13日13時 雨雲の様子

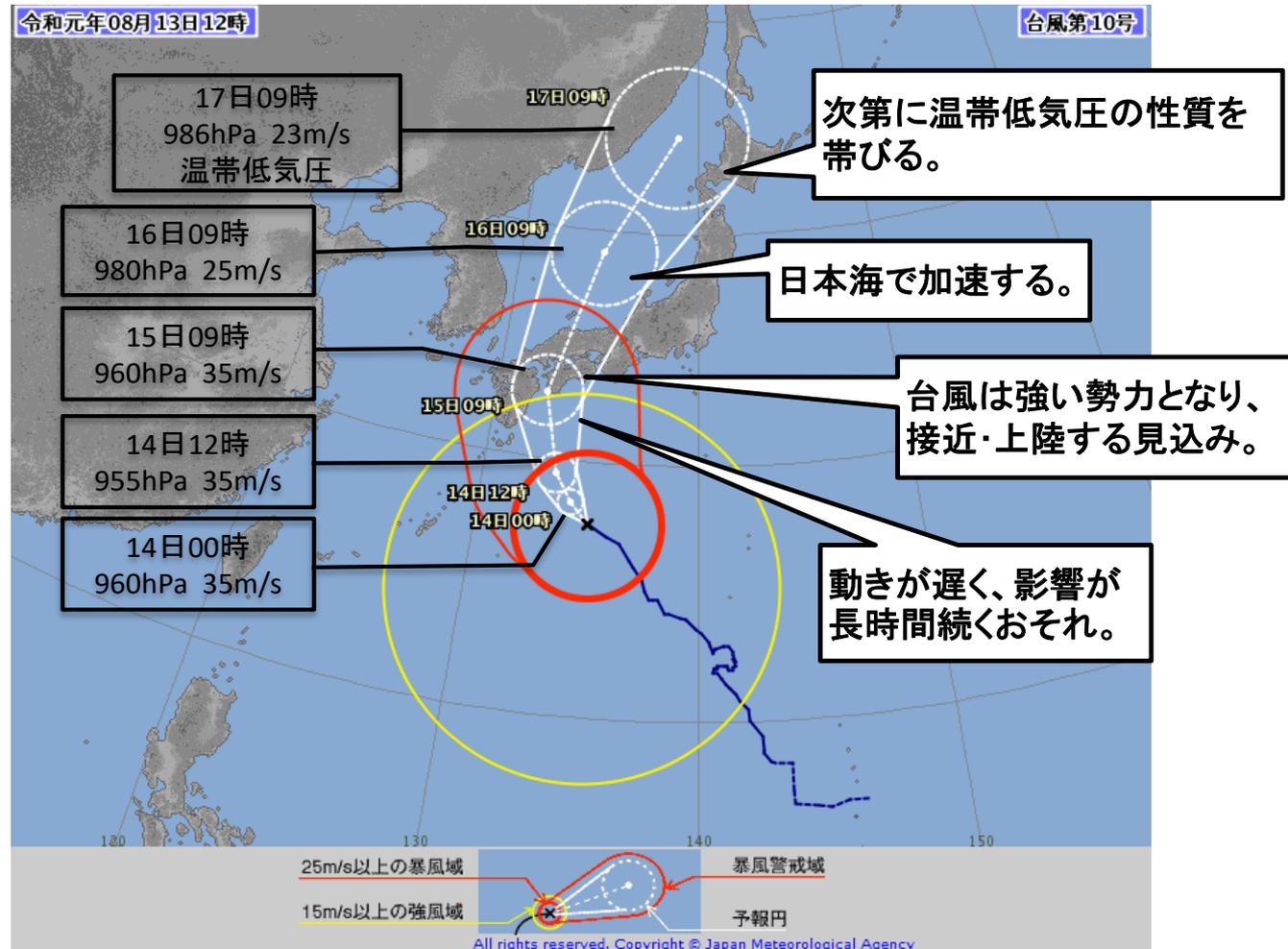
今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。

(天気図：<https://www.ima.go.jp/ip/g3/index.html>)

(雨雲の動き (高解像度降水ナウキャスト)：<https://www.ima.go.jp/ip/radnowc/>)

台風の進路予想

8月13日
13時時点の資料



台風第10号の進路予想図(13日12時)

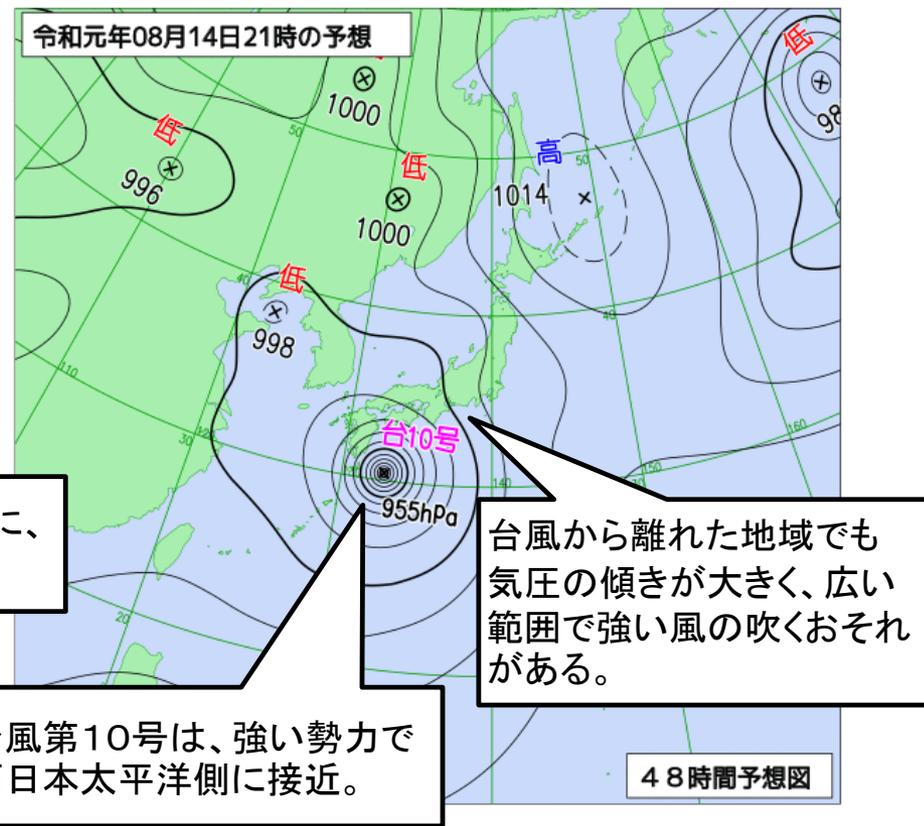
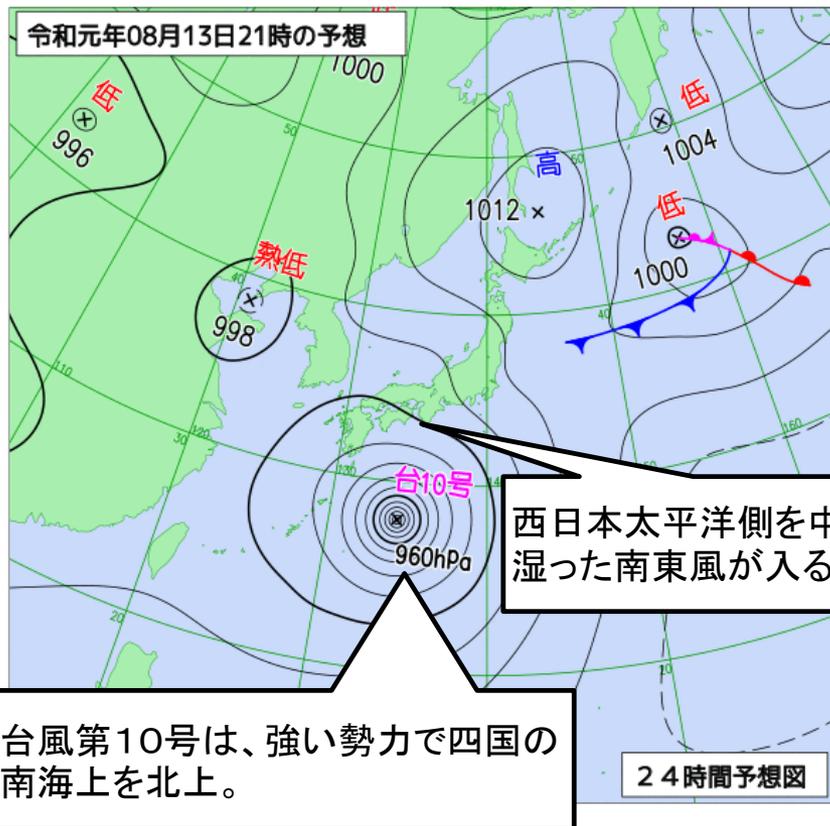
今後の予想を含めた最新の情報は、各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。

(台風情報：<https://www.jma.go.jp/jp/typh/>)

(衛星画像：<https://www.jma.go.jp/jp/gms/>)

予想天気図

8月13日
13時時点の資料



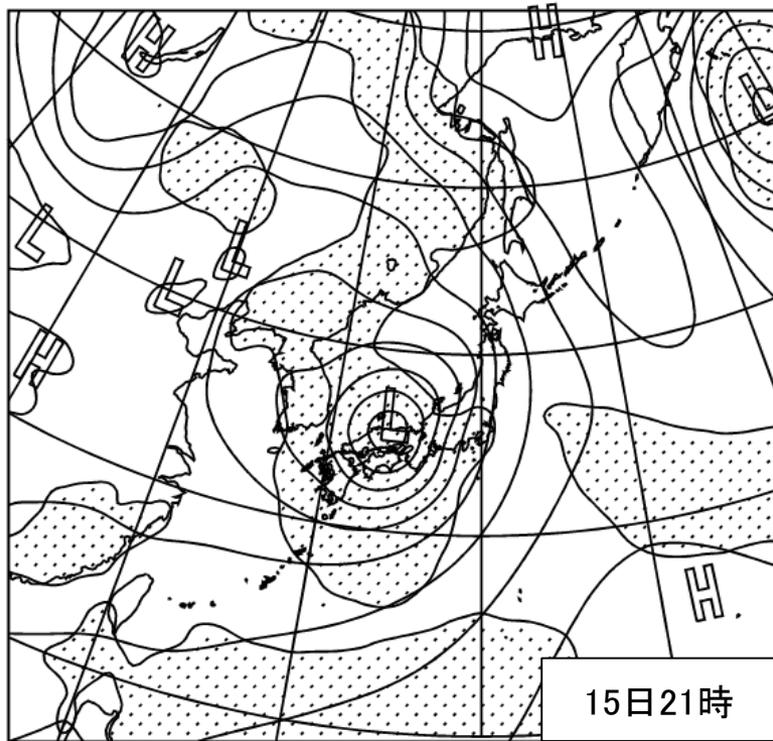
13日21時 予想天気図

14日21時 予想天気図

今後の予想を含めた最新の情報は、各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(天気図：<https://www.ima.go.jp/ip/g3/index.html>)

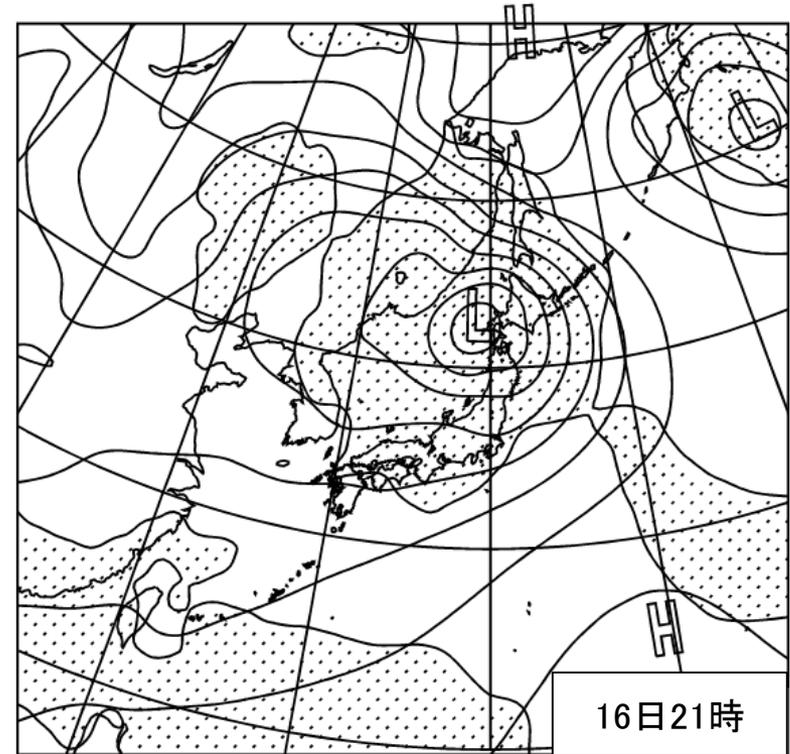
15日、16日の気象の見通し

8月13日
13時時点の資料



15日21時

SURFACE PRESS, PRECIP(48-72)



16日21時

SURFACE PRESS, PRECIP(72-96)

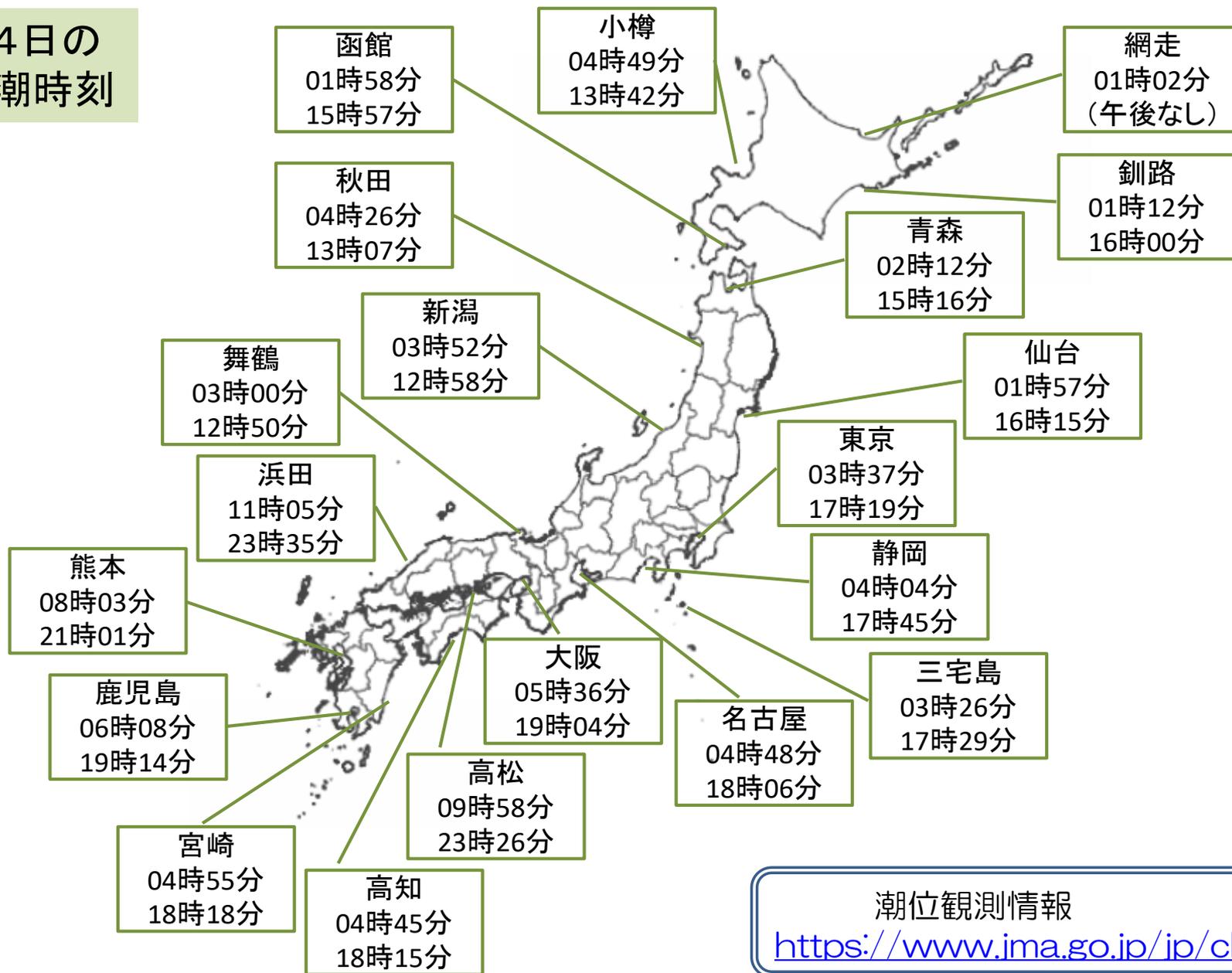
 : 降水域

・台風が北上した後も、西日本や東日本の太平洋側に暖かく湿った空気が流れ込み大雨のおそれ。

満潮時刻

2019年8月14日

14日の
満潮時刻

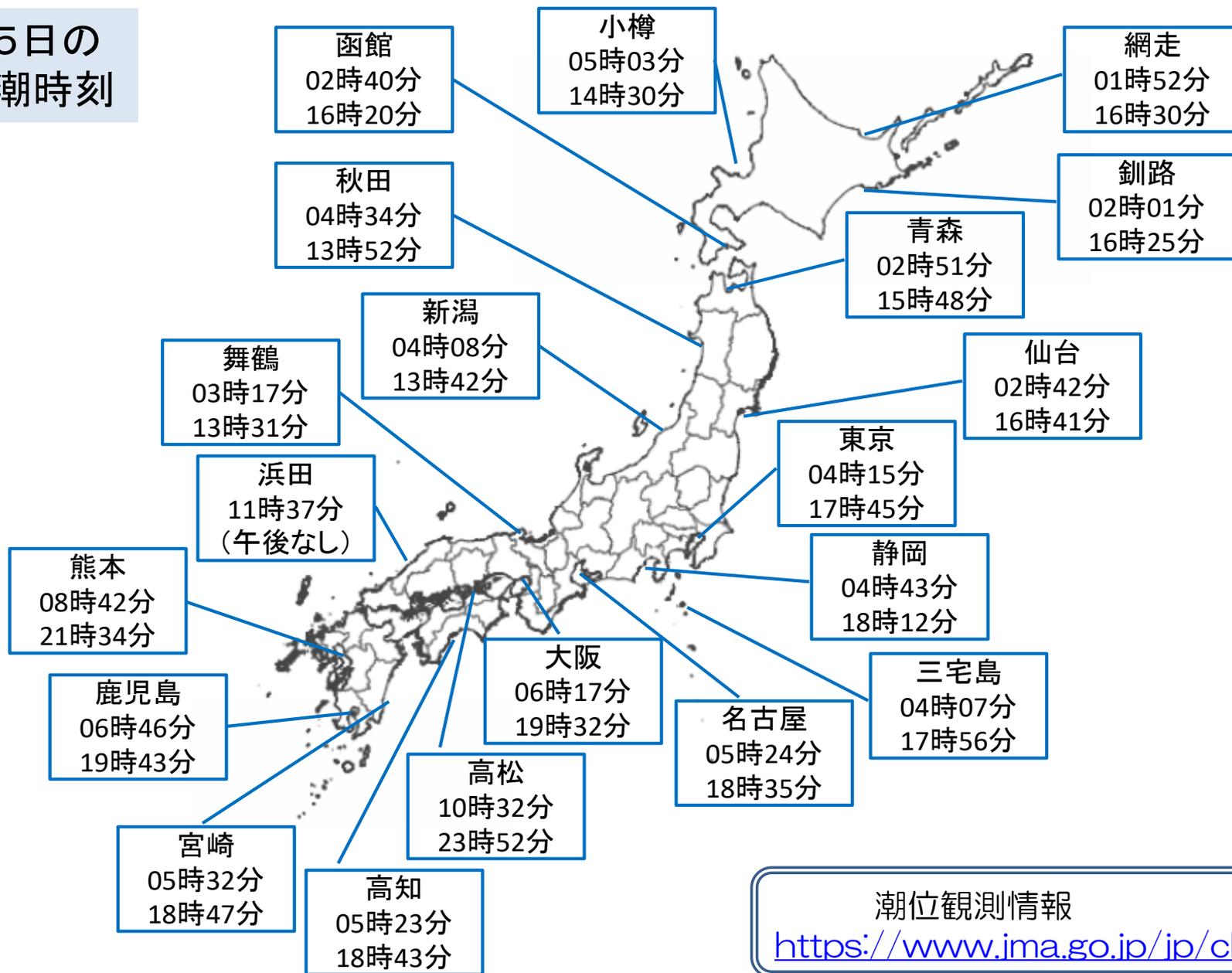


潮位観測情報
<https://www.ima.go.jp/jp/choi/>

満潮時刻

2019年8月15日

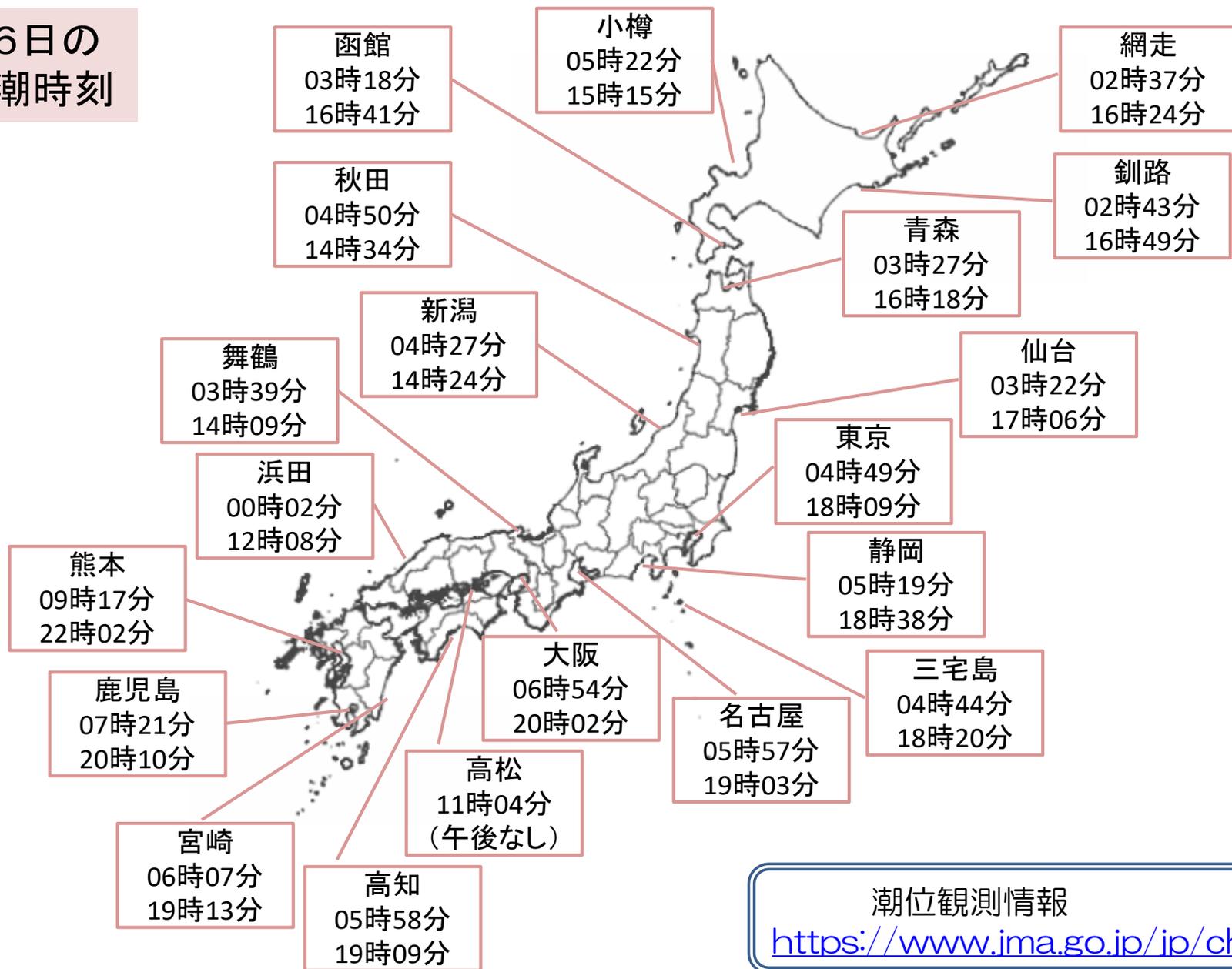
15日の
満潮時刻



潮位観測情報

<https://www.ima.go.jp/jp/choi/>

16日の満潮時刻



潮位観測情報
<https://www.ima.go.jp/jp/choi/>

今後の予想を含めた最新の情報は、以下からご利用ください。

- **気象警報・注意報** (大雨、洪水、暴風(雪)、波浪、高潮、大雪などによる災害への警戒・注意を呼びかける)
<https://www.jma.go.jp/jp/warn/>

- **危険度分布** (どこで土砂災害、浸水害、洪水の危険度が高まると予測されているかを地図上で表示)

土砂災害
浸水害
洪水

<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>
<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>
<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>



気象庁HPのバナーをご利用ください。

- **各地の気象情報** (気象概況や大雨の見通し)
<https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>

- **台風情報** (台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見通し)
<https://www.jma.go.jp/jp/typh/>
https://www.jma.go.jp/jp/typh/typh_text.html

- **指定河川洪水予報** (国や都道府県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測)
<https://www.jma.go.jp/jp/flood/>

- **土砂災害警戒情報** (命に危険が及ぶ土砂災害の発生が切迫したときに厳重な警戒を呼びかける)
<https://www.jma.go.jp/jp/dosha/>

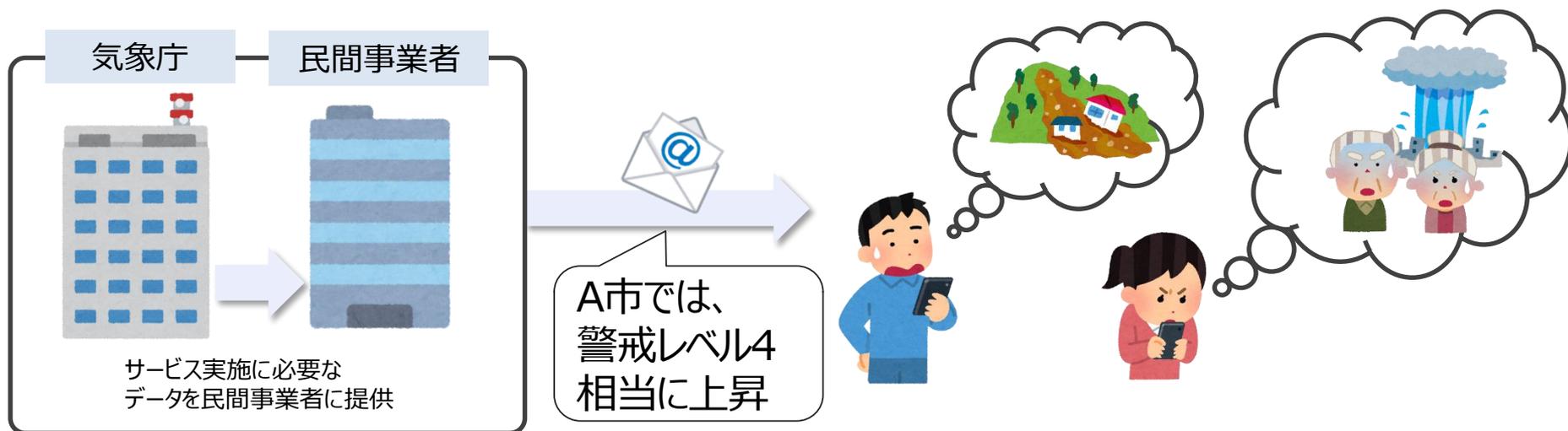
- **最新の気象データ** (雨雲の動き、レーダー・ナウキャスト(降水・雷・竜巻)、今後の雨、雨や風の観測データ、衛星画像)
<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>
<https://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>
<https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/>
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind_rct/index_mxwsp.html
<https://www.jma.go.jp/jp/gms/>

(本報道発表に関するお問い合わせ)

気象庁予報部予報課:03-3211-8303

(参考) 「危険度分布」の通知サービスについて

- ▶ 土砂災害や洪水等からの自主的な避難の判断に役立てていただくために、危険度が高まったときにメールやスマホアプリでお知らせするプッシュ型の通知サービス※1を開始しました。
- ▶ この通知は市町村からの避難勧告等よりも先に届く場合があります。このため、通知を受信したときには、市町村からの避難勧告等を確認するとともに、避難勧告等が発令されていなくても、市町村内のどこで危険度が高まっているかを「危険度分布」の地図や河川の水位情報等で確認することで、自主的な避難の判断※2・3に活用いただけます。



※1 住民の主体的な避難の判断を支援する取組の一環として、気象庁の協力のもとで、以下のリンク先の5つの事業者が実施するものです。
(http://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/bosai/ame_push.html)。

※2 離れた場所に暮らしている家族に避難を呼びかけることにも活用いただくことができます。

※3 避難にあたっては、あらかじめ指定された避難場所へ向かうことにこだわらず、川や崖から少しでも離れた、近くの頑丈な建物の上層階に避難するなど、自らの判断でその時点で最善の安全確保行動をとることが重要です。